

第1回三木市下水道事業経営検討委員会 議事録

日時 令和6年10月21日(月)15時～

場所 三木市上下水道部庁舎2階第一会議室

出席者

委員 瓦田委員、稲葉委員、行徳委員、小藤委員、岡島委員、三村委員、
鷺尾委員、湯上委員

事務局 合田副市長、錦上下水道部長、砂川下水道課長、岩崎課長補佐、
岡田課長補佐、長谷川課長補佐、西田主任

1. 開会

- ・副市長より開会のあいさつ。
- ・事務局より、委員の紹介。
- ・事務局より、検討委員会の設置目的、会議の運営方法の説明。
- ・会長選出及び副会長指名。

2. 議事について

①三木市下水道事業の現状分析と課題について

事務局より、資料に基づき説明。

【協議内容】

会長 現在の経営戦略において一番の課題としているのは資金の確保だと思われる。令和13年に資金ショートが起こる可能性があるということだが、資金ショートを回避するために短期で一時借入を実施することは可能か？

事務局 毎年度9月に資金が非常に厳しくなるため、そのタイミングで一時借入を実施することはあり得る。ただ、年々資金繰りが厳しくなっている中で、根本的な課題解決にはならない。

委員 財政計画は、過去実績の傾向をもとに作られていて、行政としてどういう努力をしているから、これだけの収入増加や経費削減がなされて事業として維持できるのか、例えば私たちの自治体が抱えている空き家の問題が水道事業とどうリンクしていくのかということは、水道事業の収益に繋がっているわけで、行政として取り組んでいただければと思います。

会長 空き家の問題は大きな問題になっていて、当該検討委員会だけでカバ

一できない問題だが、空き家になっているところでも閉栓はしているか？

閉栓していないのであれば、おそらく基本使用料は徴収されていると思うが、そのあたりの数字は把握されているのか？

事務局 具体的な数字は現在持ち合わせていないが、次回等にお示しする。

委員 現在の経営戦略はよくできていると思うが、現在の経営戦略について実績、結果の検証が、どこかで必要だと思うがどうか？

事務局 検証については、現在最新のデータを取り込んで、シミュレーションを実施しており、現在の経営戦略とどれくらい乖離があるかという作業を進めている。当該検討委員会で検証結果をお伝えできればと考えている。

委員 資料を拝見すると、令和6年から令和13年で企業債償還金の減少が見込まれているので、企業債の返済ピークをしのげば、その後は経営状況は改善傾向が見出せると思うが、その辺りはどうか？

事務局 企業債の償還及び利息については、返済ピークを過ぎると急激にその負担は減少していくものと見込んでいる。

委員 財政計画について、公共下水道事業と特別環境公共下水道事業と農業集落排水事業の3事業ごとの開示はできるか？

事務局 次回以降で開示する。

会長 三木市下水道事業は非常に自己資本比率が低い。資金がなく更新財源がほとんど確保できていない状況であるため、更新財源は企業債に頼らざるを得ない状況だが、また企業債残高が増えていくのではないかと認識しているが、いかがか？

事務局 ストックマネジメント計画を、今年度新しく見直しており、そこで投資の規模や財源も判明してきたため、新しい内容でシミュレーションを実施したものを次回以降でお伝えする。

委員 未接続の方々の年齢構成とか住んでおられる地域とか、ある程度認識されているのか、何か分析されているのか。

事務局 主な原因としては、高齢者の方でたくさん費用がかかるし、接続しても次の世代はそんなに住まないんじゃないのかな、というのが大きな原因だと思う。この辺はもうちょっと分析させていただきたい。

委員 農集の統合によるコストダウンの試算などあれば、また教えていただきたい。

事務局 次回以降、試算した結果をお伝えする。

委員 非常に原理の問題になるが、どういう形のバランスシートが三木市の水道事業として一番理想なのか、示しいただきたい。

- 会長 どういう形が一番理想と言えるのかが難しいと思うが、次回決算書のデータを出していただいて委員の皆さんからご意見をいただきたい。
- 委員 流動比率について、他市町の北播4市で急激に上がっているが、料金を上げたり、企業債の償還が終わった等の何か要因があるのか？
- 事務局 また、調査して後日回答する。
- 委員 前の経営戦略で、キャッシュフローがかなり厳しい状況で、年間1億ずつぐらい減少している。資金が減少する原因と仕組みを示していただきたい。
- 会長 ありがとうございます。次回、資金減少の原因や仕組みを示せる資料を出していただきたい。
- 委員 現状、水道料金の減免等は実施しているのか？
- 事務局 減免は実施していない。
- 委員 下水道のない地域に新しい下水道を整備するといったことはないのか？整備されて老朽化が進んでいる下水道の補修に費用がかかっているということなのか？
- 事務局 下水道を整備する計画区域を決めてから整備を進めており、計画区域の中は一定程度の整備が進んでいる。計画に対して整備率が100%にはなっていないが、未整備の計画区域は、例えば土地の問題で下水管が入れられない等の地形的な問題があり、そういったエリアが一部残っているという状況である。
- 会長 最後に、三木市下水道事業の地図を見れば、最も面積が広いのは特定環境保全公共下水道であり、面積が広い割に利用人口は8,000人程度で非常に経営効率の悪い事業になっている。また、農業集落事業は点々と存在し、統廃合が難しい。既にある公共下水道や特定環境保全公共下水道につなげるためには、長い距離の管渠を整備することは難しい。これら、経営効率が悪い事業を抱えているというのは一つの特徴である。
- これもぜひ念頭において、次回以降の議論を深めていきたい。ありがとうございました。

②今後スケジュールについて

事務局より、今後のスケジュールについて説明。

【協議内容】

- 委員 2回目は投資の試算と財源の試算で、3回目は料金改定が議題だと思いますが、料金改定の議論は1回で終わるのか。

会長 料金改定について 1 回だけで議論がまとまらない場合は、慎重に検討を重ねていくということによいか。

事務局 スケジュールについて、もう一度検討のうえ調整する。

4. 閉会

- ・事務局より開会のあいさつ。